

全トヨタ労連 飛騨ふるさと村アクティブガイド

2018 vol.7

秋・冬号

荘川Style

特集

ふるさとのかたち

日本のふるさと
荘川に残る伝統



全トヨタ労働組合連合会



日本のふるさと、荘川

岐阜県高山市荘川町。ここには、あの日に見た景色が今も残っています。
季節ごとに表情を変える豊かな自然、とんぼと一緒に駆け回った田んぼ、
冬の厳しい寒さを和らげてくれる家、歴史を伝える荘厳な祭り、そして、温かい人々。
忙しい日常を忘れ、ゆったりと流れるふるさとの風にあなたも触れに来てください。



ふるさとを守る伝統芸能

土地と人を結ぶ大切な日本の伝統芸能。荘川には今もなお受け継がれ、根付いているものが多くあります。美しく荘厳に行われる芸能から、先人が守ってきた豊かなふるさとへの思いを受け取ることができるのです。

連獅子

日本の中でも少し早く紅葉の時期を迎える荘川の10月。各町内の神社で大切に保管されている30頭の獅子たちが、一堂に会する「飛騨荘川ふるさと祭り」。獅子1頭につき2～3名の演者が獅子を動かし、その壮大な舞に生の笛や太鼓などで、江戸時代に創作された当時の恋物語を唄い込んだ「数え歌」の音頭を付けます。日本でも類を見ない獅子の数。美しく迫力のある獅子を見に、毎年多くの観光客が訪れます。

獅子舞は五穀豊穡、疫病退治や悪魔払いをするものと考えられており、頭をかまれると、厄払いになり、「無病息災で過ごせる」という言い伝えがあります。



奉納芝居(村芝居)

荘川の秋は奉納芝居から始まります。荘川町内の黒谷白山神社(9/1)、一色白山神社(9/2)、野々俣神社(9/3)、荘川神社(9/14)の4神社で行われるもので、江戸時代から続く同町の伝統行事となっています。

荘川では、古くから歌舞伎芝居が伝わっていましたが、現在は残念ながらその姿は絶えてしまい、資料にも残っていません。しかし、数少ない農村娯楽の一つとして大衆演劇(村芝居)の形で演じられ今に至っています。



地元の若者が熱演する、笑いあり、涙ありの人情時代劇。素人芝居のためハプニングも多く、客席からは温かいヤジが飛び、御一興。みんなで笑って楽しむ初秋の風物詩になっているのです。

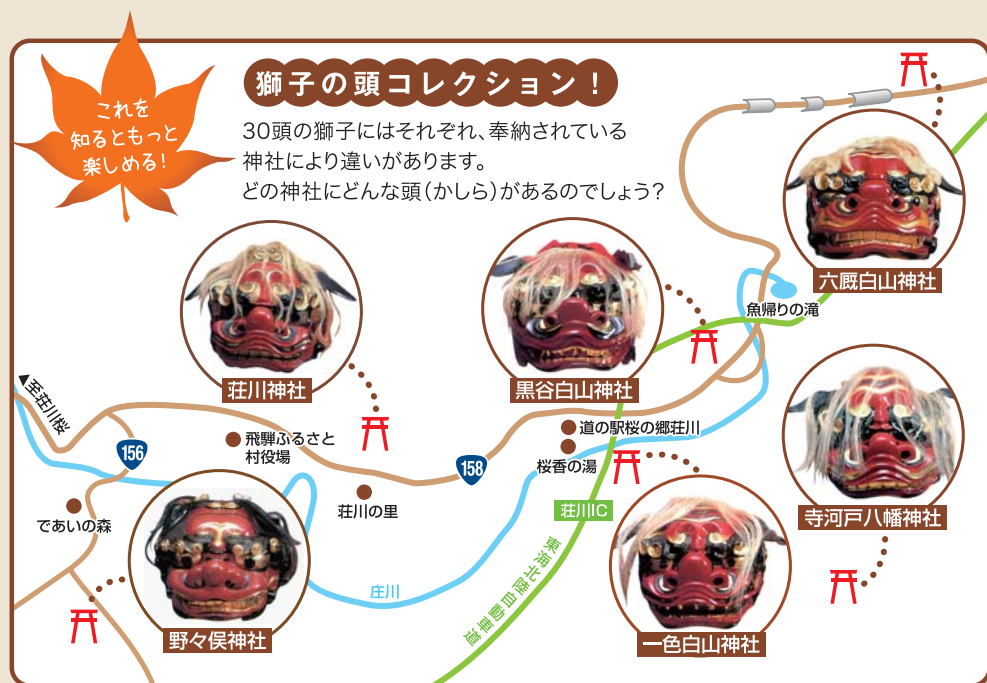


荘川民謡

民謡は、谷や川に沿って伝わるといわれ、荘川でも「庄川」に沿った「白川街道」や郡上へ通じた「郡上街道」を通して様々な民謡が持ち込まれたといわれています。山あいの各地域で、それらの民謡が歌い継がれて成長し、荘川でも地区独特の民謡となりました。なかでも「荘川千本搦き」は「日本民謡大観」(日本放送協会編)に楽譜つきで紹介されました。また、「飛騨荘川ふるさと祭り」では、荘川民謡「荘川えっさえっさ」に合わせてみんなで踊ってフィナーレを迎えることが恒例となっています。



現在も民謡保存会の皆様により荘川地区の中学生を中心に民謡を伝習し共に披露するなど、保存・伝承活動が続けられています。



日本の伝統家屋はこんなにスゴイ！

日本の伝統家屋には、住まいを心地よくしようとする工夫、
どのような生活にも対応し、豊かなものにしようとする工夫が見られます。
心の豊かさははぐくむ日本伝統の家屋のしくみを見てみましょう。

写真協力: 荘川の里

人が集い、会話をする場所

縁側で日向ぼっこをしながら
ご近所さんと趣味に興じ
たり、玄関の土間で、お土
産を渡すついでにちょっと
お話したり。日本家屋は、人
の集いを促すしくみを多く
取り入れているのです。



四季の変化を感じ、楽しむ

日本の四季は気候の変化が
大きく、時には厳しく感じます。
日本家屋はその自然の移り変
わりを受け入れ、生活に取り
入れる工夫をしています。四季
を感じ、楽しむことができるよ
うに設計されているのです。



① 茅葺き屋根

断熱性が高いので夏は涼しく、冬は暖かく過ごすことができます。音を吸収するので遮音効果も高いとされています。



② 土壁

防火性能が高く、夏は湿気を抑え、冬は蓄熱性があり、暖かさを逃がさない快適な空間を作ります。



③ 囲炉裏

調理や食事のほか、採暖をします。また、火のつゆ癒しの効果もあり、家族や来客との団らんのかたまりとして使われます。



④ 畳

高湿度の時は水分を吸収、乾燥時は潤いを与えてくれます。クッション性が高く、座ったり転がったりできるのも魅力です。



⑤ 欄間

工夫や趣向を凝らしたものが多く、暗い部屋への遮光が可能。部屋の連続性を確保しながら、通風、換気を行えます。



⑥ 格子

外からの視線を遮るので、通風を確保しながらプライバシーを守れます。外の眩しい日光も緩和できます。



⑦ 障子

直射光を防ぎ、柔らかい光を室内に取り入れます。また、視線を遮りながらも音や気配で人の存在を感じさせます。



⑧ 縁側

空間の広がり確保し、夏の暑さと冬の寒さを和らげる機能があります。内と外を繋ぎ、社交場としても活躍します。



オススメ

荘川の里

昔人たちの生活の 知恵と工夫が見える里

山間にひっそり息づく「荘川の里」。ここに二百数十年以上の歴史に耐えてきた寄棟様式入母屋合掌造りの民家を移築保存し、当時の生活様式を今に伝え、その頃の生活を知る貴重な民俗資料として建ち並んでいます。



荘川の里

住 所	岐阜県高山市荘川町新洲
電 話 番 号	05769-2-2681
ホームページ	http://www.hida-ouka.jp/shoukawa.html
入 場 料	大人／400円※ 子ども／200円
休 館 日	毎週水曜日(祝日の場合は要確認)
営 業 時 間	午前10時～午後4時
営 業 期 間	4月中旬～11月下旬 (12月～3月は休館)
ア ク セ ス	荘川ICから車で約3分

※修復期間中(2018年12月まで)の入場料は大人300円となります。

旧木下家住宅、旧渡辺家住宅は、2018年12月末まで修復のため、観覧できません。予めご了承ください。(2019年4月より観覧可能)

＝ 飛騨ふるさと村の総合案内所 ＝ 「全トヨタ労連 飛騨ふるさと村役場」



是非こちらに
お立ち寄り
下さい!

飛騨ふるさと村役場
事務長
益戸貴美枝さん



組合員とその家族のための飛騨ふるさと村。そのインフォメーション・センターの役割を担うのが「飛騨ふるさと村役場」です。古い民家を利用した建物にはスタッフが常駐し、「村民手帳」の発行や宿泊の受付、現地案内、イベント企画、組合ごとの研修会などの業務を行っています。

飛騨ふるさと村役場 05769-2-3055

もっと詳しい情報はWebへ!

飛騨ふるさと村役場

検索